

# 第13回「東大路通歩行空間創出推進会議」

## 議事摘録

日時 令和元年8月20日（火）

午前11時15分から午前11時45分まで

場所 東山区役所3階大会議室

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 各取組の進ちょく状況
  - (2) 自転車利用実態調査の結果報告
- 3 閉会

### 【配布資料】

- ・ 第13回「東大路通歩行空間創出推進会議」委員一覧
- ・ 第13回「東大路通歩行空間創出推進会議」座席表
- ・ 第13回「東大路通歩行空間創出推進会議」資料



写真 開催状況

## 1 開会

### 【事務局による資料確認】

### 【事務局からの委員交代のお知らせと議長指名】

(議長)

- ◆ 本日の議題は、各取組の進ちよく状況と自転車利用実態調査の報告である。
- ◆ 色々な場面でインバウンドの影響が出ている。それに対応していくことが東大路通歩行空間創出推進会議の大きな目的である。
- ◆ 事務局からの説明後に皆様からの御意見をいただきたい。

## 2 議事

### 【事務局による資料説明】

- ◆ 議事（1）各取組の進ちよく状況
- ◆ 議事（2）自転車利用実態調査の結果報告

### 【質疑応答】

(地元代表)

- ◆ 細かいことですが、4点、お聞きしたいことがある。
- ◆ 1点目は、自転車保険についてである。現状として、去年くらいから自転車利用者に対する自転車保険は、強制的に加入しなければならないことになっている。例えば、京都市共済では、1億円の賠償責任保険に加入することができる。その一方で、インバウンド観光客などのレンタサイクル利用者が事故を引き起こすことも考えられる。こうした中で、自転車保険の加入実態をお聞きしたい。
- ◆ 2点目は、馬町バス停（南行）付近の遊歩道についてである。この遊歩道の利用促進を図るため、遊歩道出入口付近の電柱2箇所案内表示（電柱幕）が設置されているが、表示が分かりにくいので改善をお願いしたい。
- ◆ 3点目は、今熊野商店街の自転車利用のルール・マナーについてである。今熊野商店街は、買い物客、特にお年よりの多い。その中でインバウンドの外国人の方々は、今熊野商店街（歩道部）を無意識に自転車に乗って走り抜けている。自転車利用者のルール・マナーの向上を図るため、新たに案内標識を設置していただきたい。
- ◆ 4点目は、今熊野の駐輪場実態についてである。現状として今熊野学区内には、駐輪場が1箇所もないため、買い物客も増えないし、自転車を駐輪して散歩することもできない。このような実態を踏まえて、行政の考え、方策をお聞きしたい。

(京都市建設局自転車政策推進室)

- ◆ 1点目の自転車保険については、義務化以降、京都市では8割以上の方に加入していただいている状況である。レンタサイクルについては、京都市でレンタサイクルのショップを認証する制度にしており、ほぼ全てのレンタサイクル店が保険に加入している。
- ◆ 3点目の自転車利用のルール・マナーの向上に関する取組については、昨年度、京都市内のホテルと旅館約3千件とレンタサイクル店に、外国人を対象としたルール・マナーの啓発チラシの配布等をしている。また、今後も引き続きルール・マナーの向上に向けた啓発を進めていく。
- ◆ 4点目の今熊野学区内に駐輪場がないことについては、その原因として、行政の方で駐輪場整備に必要な用地を確保することが難しいことなどがある。民間の方が駐輪場の整備を行う場合は、全ての場所が対象ではないものの本市が整備費を助成する制度があるので、自転車政策推進室まで御相談いただければと思う。

(事務局)

- ◆ 2点目の馬町バス停（南行）付近の遊歩道の案内表示（2箇所の電柱幕）については、どのような表示にすると見やすくなるか（分かりやすくなるか）を検討する。

(議長)

- ◆ 自転車利用は、結局、マナーの問題であるため、外国人の方にどのように伝えるかということ、それを習慣づけていただくということ、歩行者が多いところでは自転車を降りることをみんなで理解していくことが重要である。
- ◆ 約25年前の京都市内の放置自転車の実態から見ると、政策的には大成功していると言える。現在の京都市内には放置自転車がほとんど無くなっている状況にあるので、インバウンドが増加する中で、現状を維持しなければならぬと思う。

(地元代表)

- ◆ アーケードがある今熊野商店街では、自転車が歩道を通行していることが多く、車道を逆走している自転車走行実態もある。
- ◆ 行政による自転車利用のルール・マナーの啓発として、外国語表示を含めた電柱幕が設置されているが、全く効果がないように感じる。
- ◆ インバウンドなどのレンタサイクル利用者が歩道を通行している中で、我々地元が外国の方に「歩道は通行不可、歩道ではなく車道を通行すること」などを注意することが困難である。

- ◆ 新熊野神社付近では速度超過した自転車と子供などの歩行者の接触事故が懸念されるため、定期的な警察による自転車利用に関する指導取締などを考えてほしい。
- ◆ 今熊野の道路整備に関して、魅力ある今熊野橋を作っていただきたい。

(東山警察署)

- ◆ 自転車の指導取締は、警告を与えその警告に従わない者に対して取締（特に一時停止の取締など）を行っている。
- ◆ インバウンドの外国人は、ルールへの不知により自転車のルール違反をする者が多い他、帰国してしまうことから継続的な指導がやりにくい側面がある。
- ◆ 東山警察としては、今後も引き続き、レンタサイクル店や宿泊施設に対して、自転車利用のルール・マナーの向上を啓発していくとともに、現地の商店街で啓発チラシの配布や指導取締を強化していく。

(副議長)

- ◆ 放置自転車は、一時期に比べるとかなり減っていると思う。
- ◆ 自転車利用実態調査結果より、この地域では、レンタサイクルではなく、レンタサイクル以外、つまり地域の人や学生などが自転車を放置している傾向にあるように思う。
- ◆ インバウンドの外国人は、駐輪場所の明確な案内表示がない中で、地域の人や学生の駐輪実態を見習って、自転車を放置してもよいと思ってしまうのではないか。
- ◆ まずは、外国人の方々にルール・マナーの向上を啓発する以前に、学校や地域が各々、放置自転車問題に取り組むべきである。

(議長)

- ◆ 学生の放置自転車問題では、これまでに今出川エリアで同志社大学、京都大学及び京都府警察が連携して取り組んでいる事例がある。今後は、北大路エリアで京都府立大学が同様の取組を推進する予定である。
- ◆ インバウンドが増加すると、東大路通界隈のお店も増える。お店が増えると、夜のアルバイトも増えるが、夜遅くには公共交通がない状況となる。京都市内はかなり遠くから自転車で通えるので、知らないうちに商店街の隅っこなどに停めている。こうした急速な変化が起こる場所では、何らかの問題が出てくるので、慎重に見ていく必要がある。

(副議長)

- ◆ 今熊野商店街では、「歩道を通行する自転車多くて困っている」とのこと

あったが、(伏見区の)大手筋商店街や(上京区の)出町商店街では歩道を通行する自転車台数が少ないのではないかと思う。

- ◆ 商店街の出入口に「自転車も押し歩く」などの看板を設置してはどうか。
- ◆ 自転車の利用範囲については、国土交通省(京都国道事務所)の調査結果では、嵐山から東山まで自転車に乗るなどの非常に利用範囲が広いということが取りまとめられている。

(議長)

- ◆ 本日は、自転車利用実態調査結果の他に、歩道の横断勾配の改善、バス待ち環境の改善の進捗状況などが報告されているため、それに関しても皆様からの御意見をいただければと思う。
- ◆ 本事業の取組とは別に、国土交通省(京都国道事務所が事務局)の取組の中で、東山地区の主要バス停の撮影をしている。この撮影では、バス待ち客の混雑の様子などを撮影しており、結果がまとまり次第、報告いただく機会があればと思う。

(副議長)

- ◆ 自転車は、非常に便利で環境にも優しいため、自転車利用を促進するための走行環境を整備していくことが重要である。
- ◆ ドイツ、オランダなどでは、自動車・自転車が通行するレーンがほぼ完璧に整備されており、自転車利用者のマナーも良いように思う。京都市でも本日の自転車利用実態調査結果を活用し、何らかの対策に結びつけていくことが必要である。

(議長)

- ◆ 我々は、自転車利用を推進する立場で取り組んではいるものの、人身事故が年々増加している。そうした中で、京都市が長年にわたり推進してきた自転車政策を、今後どのように展開していくかが大きな課題である。
- ◆ 東大路通歩行空間創出推進会議は、皆様と議論する中で、歩道を拡幅するところからスタートしている。ご存じの通り、交通環境と観光客の増加は日々厳しくなっている。今後、何らかの形で柔軟な対応が必要になってくることも含め、反対意見の方もおられると思うが、推進会議の場で丁寧に見ていきたいと思う。
- ◆ 一番大事なことは、観光客が増加する中で、交通事故を未然に防ぐことが重要である。地域の皆様と観光客の皆様の安全を確保することが最優先であるため、今後も引き続き東大路通の安心・安全な歩行空間の創出にご協力をお願いしたい。

### 3 閉会

#### 【閉会の挨拶】

(川越委員：京都市都市計画局歩くまち京都推進室)

- ◆ 今後も引き続き、歩いて楽しい東大路，安全な東大路づくりに向けた皆様のご協力をお願いしたい。
- ◆ 本日はどうもありがとうございました。

(以上)